

フレンズジム南山田保護者向け

児童発達支援・放課後等デイサービス評価報告

2018年8月実施

配付数 47世帯 回収数

31世帯

回収率

66%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	94%	6%	0%	・部屋がスッキリしていてとても良い。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	97%	3%	0%	・先生がたくさんいて良い。 ・配置人数は十分だと思う。 ・専門性は適正。子どもが確実に成長している。
	③	事業所の設備等は安全面の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	・余計なものがなく安全である。 ・安全に送迎から活動時まで見てくれていると思う。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、サービス計画（※1）が作成されているか	97%	3%	0%	・こまめに子どもの様子をのせてくれている。
	⑤	活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	94%	6%	0%	・楽しく飽きない色々な工夫がある。 ・リズム良く設定されている。 ・毎回いろいろ作成してきて楽しい様子。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	29%	68%	3%	・求めている ・一般の子どもとはあまり触れあって欲しくない。 ・公園などで地域の子たちと交流がある様子。
保護者 への 説明等	⑦	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94%	6%	0%	・面談や送迎時にしてくれている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	・連絡帳に丁寧に書かれている。 ・苦手な事が出来た時、チャレンジした時、必ず伝えてくれ、またフォローもしてくれる。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	97%	3%	0%	・面談では時間いっぱい相談している。 ・家でも出来そうな支援を教えてくれる。
	⑩	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	75%	22%	3%	・保護者会などで保護者同士のつながりを持ってたら良いと思う。 ・なかなか参加できないためよくわからない。 ・保護者懇談会に参加してよかった。地域に分かれた情報共有などもしてみたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	84%	16%	0%	・苦情がないのでわからないが、対応してくれることを説明してもらっている
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97%	3%	0%	・すべてのスタッフの方が理解してくれていて、送迎時にもいろいろ伝えてくれる。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発進しているか	94%	6%	0%	・してくれている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	94%	6%	0%	・してくれている。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	84%	16%	0%	・してくれている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	90%	10%	0%	・してくれている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	・フレンズジムに通うために学校へ行くような感じです。 ・帰りに「楽しかった」と言っている。 ・毎週友達と会えるのを楽しみにしている・
	⑱	事業所の支援に満足しているか	97%	3%	0%	・幼稚園や療育センターとの連携もしてくれている。 ・満足。

※1 児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する個々の子供たちについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。

※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

#### ◇ 総括

平成29年度実施の際の改善目標であった、⑩⑯に関してはマニュアルの周知や保護者向けに報告を行うなどで改善が見られている。⑥に関しては、未だ限定的な取り組みであるので、事業所として地域とどのようにつながるか、という視点での検討も必要であると考えられる。

#### ◇ 改善点

改善点として挙げた項目について、職員間にて話し合い、今後の対応策を検討し改善を図った。

⑥	定期的な戸外活動により、地域の方々と挨拶を交わしたり、公園で事業所外の児童と出会い一緒に遊ぶ場面を設けている。しかし、限られた場面になりがちである。今後は地域とつながる事業所という視点で、利用者の要望に応じた支援を考え、実行していく事とする。 他に、戸外活動の様子を丁寧に保護者へ周知していく事や、地域の自立支援協議会への積極的な参画を通して、地域の関係機関とのつながりを今後も深めていく。
⑩ ⑯	今後も参観週間への周知と共に参加を呼び掛けていく。また、開催日程や内容についても、得られた意見を参考にしていく。 避難訓練についても通信等で報告を行うなど、積極的に発信していく。